2020年2月某日

差枚	約+2990枚	RANK	A

実戦機種

押忍！番長3、SLOT魔法少女まどか☆マギカ2

実戦レポート

いつからか口を開けば「調子が悪い、勝てない」と呪いの言葉を吐き出し続けているオレだが、実は今回のホールでは過去2ヵ月連続で高設定に座ることができ、S級獲得まであと一歩というところまで辿り着けているのだ。言ってみれば「相性がいい」そんなホールで、引いた番号は「35番」。約40人の抽選だったのでほぼ最後尾みたいなもんだが、まぁ何とかなるさ～ぐらいの楽観的ムードでのスタートとなった。

しかし、入店してみると思った以上に打ちたい機種が埋まっており、頼みの綱のバラエティコーナーのバジⅢ等まで先客がいたのは驚いた。残っているのはつまり、先客たちが「この機種は後回しだな」と第二候補以降に据えたものばかり。そんな中からまず座った「押忍！番長3」は、やはりオレ自身も高設定をガチで狙うというよりは、朝イチの対決で上手いことアレして80%ループ取れたらいいな～的な、かなり甘い妄想を抱いての選択だった。先週の実戦で、狙い通りに一発で突入してくれた絶頂対決の余韻が影響していたのも確かである。

そんなポヤンとした頭も、チャンス目から発展した初回対決で普通に負けて、規定ベル回数からの対決もスカった頃にはヒンヤリ冷えてくる。このまま打ち続けると危ないぞ、と。そう思って周囲を見回すと、朝イチに高確スタートしてからそこそこ良い挙動をしていた「SLOT魔法少女まどか☆マギカ2」が目に入った。設置は2台で、もう片方はまだ手付かずなので、そっちを回してみるのもアリか…ぐらいの気持ちで移動すると、すぐに設定差のあるボーナスをポンポンと引けて、そうこうしているうちに弱チェリーもバンバン出るようになってきて…その弱チェリーから魔女の結界に突入しただとぉ!?　設定5・6を意識する上で、かなりの手応えとなる要素が早々と出現してくれたことで、やる気が一気にヒートアップ。設定差があるいくつかの要素のうち、1つ2つが序盤から突っ走ることはままあるが、ここまで揃って良い挙動を示すのはそう無いぞ？　こりゃあ、この後の展開が多少悪くなろうと、簡単には辞められないな…というか、気付けばワルプルギスの夜で495Gの上乗せとかもらっちゃってるし、出玉も絶好調じゃないか！
そして、絶好調ムードのまま迎えたお昼過ぎ、大した苦労もなくボーナス後に「みんなには内緒だよ」の画面が…。これにて設定5・6が確定し、その後直撃ARTを複数回引いていたし、お店の投入パターン的にも設定6濃厚です。あとは＋3000枚が達成できるかどうか、その一点のみ！　ギリギリまでレバーを叩き続け、「もうここしかない！」というタイミングでヤメた結果、出てきた数字は＋2990枚。なんでや～!!　あと4G早く流していれば…。超寸止めのA級。